

☆運命を拓く発想(一) ☆

高尾宗家に私が初めてお目にかかり、算命学とご縁を頂いてから今年で30年。当時、算命学という名称は初耳で、むしろ中国占星術の方が通りがよかったように思います。算命学は皆様もご承知のように、誕生日をもとに人間の過去を言い当て、未来を予測してゆきます。その正確さ、的確さは見事なものがあり、他の追隨を許しません。

◆運命は変えられる

宗家に初めて鑑定して頂いた時、誕生日だけでなぜこれほどまでに色々な事がわかるのだろうと驚愕しました。また10年ごとに変化する大運を基に、人の運氣の良い時、悪い時を驚くほどの確に表現する運命曲線にも驚きました。「宗家、運の良い時は必ず人間はよくなるのですか？またこの下降曲線のように運の悪い時は必ず駄目に

なり救いがないのでしょうか？」当時22才の私は真剣に質問させて頂いたものです。宗家は「運命曲線の上下の傾向は大筋その通りです。しかし運命が上昇する時だからといって、油断して何もせず怠惰に暮らしていたら大した上昇は望めません」とおっしゃいました。その一方で「運命曲線が下降する時でも、その3〜5年前にその対策を考え、生き方を変化させておくと、運の下降があっても、極端に落ち込むことはありません。場合によってはむしろ運を良くすることも出来るのです」こうおっしゃられました。

◆運を知り、運命を変える算命学

「運命は変えられるのですか？」との私の質問に、「悪い運を言い当てているだけでは算命学を学び、伝える意味はありません。算命学では運を知り、その運を変化させることが出来るのです。算命学イコール未来を当てるだけの占いではありません。占いは算命学の一部であって、本来の算命学は広い意味での軍略です。智慧を使って運を変えることが出来るからこそ軍略としての算命学の価値があるのです。算命学を学んでみると、その真価が分かるはずですよ」この宗家のお言葉が、私が宗家のもとに入